

1. プロジェクトの目的・概要

本プロジェクトは、4年前に小樽に登場して以来、普及が進んでいない地域通貨 Tarca の定着をはかることを通じて、地域通貨をはじめとする地域金融の意義を学生に理解させるためのプロジェクトです。

2. 具体的な取組内容

本年度は、江頭ゼミ・沼澤ゼミの学生に、地域通貨ゲームを体験させて、地域通貨の意義を理解させるとともに、本格流通に向けての準備を行いました。第一に、無期限流通のために必須のNPO法人設立申請を行い、年度末の3月に設立予定です。第二に、流通の仕組み作りでは、愛知県豊田市のおむすび通貨の例を参考に、後志米を本位とした通貨の発行の準備を行っています。

次に、市民が地域通貨の意義を深く理解するための道具として、「地域通貨ゲーム」を作成しました。これを、関心のある市民に体験してもらうと同時に、市内の中学校へ配布し、通貨および地域通貨の役割を理解するための金融教育の素材として使用してもらう予定です。

また、他地域の調査として香川県高松市でのフィールドワークを行いました。

なお、プロジェクト期間中、イオングループのポイントカードであるWAONカードとの連携がイオン北海道側から打診されましたが、WAONの他地域での事例を評価しました結果、地域通貨が目的とすべき地域コミュニティの再生に大きく寄与しないことが明らかになりましたので、今回は連携を見送りました。



地域通貨ゲームの様子

3. プロジェクトの成果及び地域への還元

本プロジェクトでは、地域通貨ゲームを作成しました。これを小樽市内の中学校に無料配布し、地域金融教育の素材として活用してもらう予定です。

さらに、2015年10月にウィングベイで行われた市民団体「おたるワークキッズ」に協力し、子供たちの職業体験イベント「第7回おたるワークステーション」にて、キッズタルカの導入を支援しました。



キッズタルカの様子